



全国の学生から集まった夢を紹介!



タウンワーク **TOWNWORK** Presents

キャンパスライフ・プラスワン

Campus Life+1 通信

～教えて!みんなの夢～ Vol.18

学生の皆さんへの夢募集企画

「Campus Life+1」に

お寄せいただいた夢をご紹介します。

どのような夢を持っているのか?

その夢を持つに至った背景は?

今、どんなことに取り組んでいるの?

全国の学生の皆さんの「夢」に迫ります!

Profile

愛知みずほ大学
2年生

近藤大祐くん
(20歳)

小学4年生の頃からサッカーを始め、大学でもサッカー部に所属。地元のプロクラブチーム名古屋グランパスのスクールコーチのアルバイトをするなど、サッカー漬けの日々を送っている。

夢はプロのサッカーコーチ 自分の手で世界に通用する選手を育てたい

私は、大学でサッカー部に所属しながら、名古屋グランパスの傘下にあるサッカースクールでコーチのアルバイトをしています。このアルバイトでの経験を活かし、将来はサッカーのコーチになることが私の夢です。この夢を持つようになったのは、高校生の頃にボランティアで小学生のクラブチームのコーチをしていたことがきっかけでした。この年代はサッカーの技術が飛躍的に伸び、人間的に大きく成長する時期でもあります。その成長を間近で見るのができたのが大変うれしく、同時にやりがいを感じることができました。その頃からプレーヤーよりもコーチとしてサッカーに携わっていきたいと思うようになり、大学入学後にコーチのアルバイトを始めました。現在は、主に幼稚園年長～小6のコーチを担当しています。年長や小学校低学年の生徒たちはまだまだ落ち着きがなかったり、小学校高学年になると反抗したり、話を聞いてくれない生徒がいるなど、教えるのも一筋縄ではいかないこともあります。最初は戸惑いましたが、その生徒が興味を持っていることを話しながら教えたり、上から目線で指導するので

はなく、その生徒のために「これはやった方がよくなる」と親身に伝えているうちに、こちらの思いを理解してくれるようになりました。サッカーは対人のスポーツなので、練習中の接触プレーにより怪我が起きたり、揉め事に発展することもあります。そういった場合の対処方法を、一緒にコーチをしている先輩に相談するなどして、少しずつコーチングの経験を積んでいます。その甲斐もあり、高校の頃は感覚で教えていたものが、今ではロジカルに教えらえるようになりました。このアルバイトでもっとコーチングのスキルを高め、将来は一流のコーチになりたいです。そして、私が指導した生徒がプロ選手となり活躍してくれたらと思っています。



▲高校生の頃の近藤くん。
中学校では地元のクラブチームに所属し、
高校では学校のサッカー部に所属。

夢への 足跡

2003年 9歳

友人が地元のサッカーのクラブチームに入っていて、自分もサッカーを始めたくなりクラブチームに入る

2011年 17歳

高校2年生のときに、自分がお世話になっていたクラブチームの監督に誘われ、ボランティアで小学生のコーチを引き受ける

2013年 18歳

地元のプロクラブチームのスクールコーチのアルバイトを始める

2014年 20歳

プロのコーチになるために世界中の試合を生で観戦したいと Campus Life+1 に応募

主催: **ENTAC**

協賛: **TOWNWORK**

お問い合わせ先: 学生コミュニティサロン「エンタク!」
TEL052-241-8100 (受付時間/平日9:00~18:00)

Campus Life+1の最新情報を掲載中!

エンタク

検索

<http://entac.jp/>

RECRUIT